

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
レクリエーション理論	2	後期	講義	2	伊達幸博

○授業の到達目標及びテーマ

レクリエーション支援者の役割は、対象者がレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるよう、達成感や良好なコミュニケーションといったレクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みに基づき、レクリエーション支援を行うことである。

その為に、対象者のライフステージに即した心の元気づくりの課題を理解し、親子、地域住民がともに楽しみ気持ちを持ちをひとつにできるようにレクリエーション活動を実施することで地域のきずなづくりに貢献できることが求められる。

本講義では理論と実践を通して、現代社会の様々な教育課題、地域の課題を認識し、レクリエーションがどのように貢献できるかを考察するとともに、レクリエーションの実践に必要な知識・技術を習得し、将来家庭・職場・地域等において実践できる能力を養うことが目的とする。

○授業の概要

レクリエーションの主旨（目的）は、心を元気にすることであり、レクリエーション支援者は、人々が自主的、主体的心を元気にできるようになることを目的に、ゲームや歌、ダンスといったレクリエーション活動を用いて手助けする指導者である。本講義では、以上の目的を達成するために、理論について学び、実践を通じてレクリエーションの価値を認識することで、レクリエーション支援者としての実践力向上を図る。この授業は、日本レクリエーション協会公認、レクリエーション・インストラクターの資格取得の主たる教科目として位置づけられている。

なお、レクリエーション インストラクター取得単位に関しては、本講義以外に、保育実習ⅡあるいはⅢの単位を取得すること、学内及び各県や市町村レクリエーション協会が提供する事業に参加（事業参加）または、スタッフ（スタッフ参加）として参加することが必要である。

○授業計画

第1回：オリエンテーション

レクリエーションの言葉の主旨、レクリエーション支援の目的、レクリエーションインストラクターの役割

第2回：楽しさを通じた心の元気づくり 対象者の心の元気

第3回：対象者の心の元気づくりの課題 心の元気と地域のきずな

第4回：良好な集団づくりの理論

第5回：自主的、主体的に楽しむ力を育む理論

第6回：リスクマネジメントの方法

第7回：個々の活動の習得 創作活動

第8回：個々の活動の習得 ダンス I

第9回：個々の活動の習得 ダンス II

第10回：個々の活動の習得 運動遊び I

第11回：個々の活動の習得 運動遊び II

第12回：個々の活動の習得 ニュースポーツ I

第13回：個々の活動の習得 ニュースポーツ II

第14回：模擬指導（プログラム）作成と実践

第15回：振り返りと総合考察

PDCAに基づくプログラムの評価と改善

定期試験（定期試験は講義内に含まない）

○テキスト

『楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー』公益財団法人 日本レクリエーション協会

その他、配布資料

○参考書・参考資料等

インターネット資料 日本レクリエーション協会「レクぼ」

○学生に対する評価

試験 50%

実技試験（模擬指導） 25%

提出物 25%